作成日： 2003/07/25
改訂日： 2021/12/03

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 ： 硫化亜鉛

会社情報

会社名 ： 関東化学株式会社
住　所 ： 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1
担当部門 ： 試薬事業本部　企画管理部　資料課
電話番号 ： (0120)260-489
ＦＡＸ番号 ： (03)3241-1047
メールアドレス ： BC32@kanto.co.jp

整理番号 ： 48058

2. 危険有害性の要約

分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 物質

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法番号	安衛法番号	
硫化亜鉛	≥ 90	ZnS	1-572	既存化学物質	1314-98-3

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 ： 直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合 ： 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合 ： 直ちに流水で十分に洗い流す。
飲み込んだ場合 ： 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。
応急措置をする者の保護 ： 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 ： この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤 ： 特になし
消火方法 ： 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護 ： 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 ： 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 ： 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 ： 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 ： 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。

安全取扱注意事項 ： みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。

保管

安全な保管条件 ： 容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 ： ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
産衛学会 許容濃度	設定されていない
ACGIH TWA	設定されていない

設備対策 ： 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具 ： 必要に応じて防じんマスクを着用する

手の保護具 ： 不浸透性保護手袋

眼の保護具 ： ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 ： 保護衣（長袖作業衣）、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 ： 固体

色 ： 白色 - 暗緑色

臭い ： 無臭

pH ： データなし

融点 ： 1850 ° C (150atm)

凝固点 ： データなし

沸点 ： データなし

引火点 ： データなし

自然発火点 ： データなし

分解温度 ： データなし

可燃性 ： 不燃性

蒸気圧 ： データなし

相対密度 ： 4.06

密度 ： データなし

相対ガス密度 ： データなし

溶解度 ： 水: 0.68 % (18℃)

n-オクタノール/水分配係数 (log Pow) ： データなし

爆発限界 (vol %) ： データなし

動粘性率 ： データなし

昇華温度	：	1180 ° C
粒子特性	：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：	酸化剤と接触すると反応することがある。
化学的安定性	：	通常条件で安定である。水を含んだ状態では、空気中で徐々に酸化され硫酸亜鉛を生ずる。。
危険有害反応可能性	：	酸と接触すると硫化水素を発生する可能性がある。
避けるべき条件	：	日光、熱、水分。
混触危険物質	：	酸、酸化剤。
危険有害な分解生成物	：	硫化水素、硫黄酸化物、酸化亜鉛。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	：	区分に該当しない ラット LD50>2g/kg
急性毒性（経皮）	：	区分に該当しない ラット LD50>2g/kg
急性毒性（吸入）	：	区分に該当しない（気体） 分類できない（蒸気） 区分に該当しない（粉じん、ミスト） ラット LC50>5.04mg/L/4h
皮膚腐食性／刺激性	：	分類できない 皮膚を刺激する可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	分類できない 眼を刺激する可能性がある。
呼吸器感作性	：	分類できない
皮膚感作性	：	分類できない
生殖細胞変異原性	：	分類できない In vivo のデータはない。In vitro では、細菌を用いた復帰突然変異試験で陰性、CHL/IU 細胞を用いた染色体異常試験で陽性である。
発がん性	：	分類できない 国際機関（ACGIH, IARC, EPA, NTP）では、発がん性を明確に示す疫学的報告が得られないことから亜鉛およびその化合物の発がん性を評価していない。
生殖毒性	：	分類できない なお、亜鉛は必須微量元素であるため欠乏症および過剰症などの生理的機能障害（皮膚炎や味覚障害、下痢等、貧血等）が誘引される。ヒトにおいて、血中の亜鉛濃度の減少による妊娠合併症の顕著な増加、出生児の低体重などの事例がある。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	分類できない 気道を刺激する可能性がある。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	分類できない なお、亜鉛は必須微量元素であるため欠乏症および過剰症などの生理的機能障害（皮膚炎や味覚障害、下痢等、貧血等）が誘引される。また、ラットを用いた強制経口投与による 28 日間反復投与毒性試験（OECD TG 407、GLP 準拠）において、雌雄とも 1000 mg/kg/日で被験物質投与に起因すると思われる変化は認められなかった。したがって、NOEL は 1000mg/kg/day と結論されている。
誤えん有害性	：	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性　短期（急性）　：　分類できない
魚類(ヒメダカ) LC50≥40mg/L/48h
水生環境有害性　長期（慢性）　：　分類できない

残留性・分解性

追加情報なし

生体蓄積性

低濃縮性
BCF ： 17-61 (3.0mg/mg/L), ≤95-217 (0.30mg/L)

土壌中の移動性

追加情報なし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性　：　分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　焙焼法 ：
還元焙焼法により金属亜鉛として回収する。
または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

＜備考＞
＊焙焼法による場合には専門業者に処理を委託することが望ましい。

汚染容器及び包装　：　空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送(IMDG)

国連番号（IMDG）　：　非該当
正式品名（IMDG）　：　非該当
容器等級（IMDG）　：　非該当
輸送危険物分類（IMDG）　：　非該当

航空輸送(IATA)

国連番号（IATA）　：　非該当
正式品名（IATA）　：　非該当
容器等級（IATA）　：　非該当
輸送危険物分類（IATA）　：　非該当

海洋汚染物質　：　非該当

国内規制

陸上規制　：　消防法、毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。
その他の情報　：　補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法　：　非該当
毒物及び劇物取締法　：　劇物（指定令第２条）

		無機亜鉛塩類
水質汚濁防止法	:	指定物質（法第２条第４項、施行令第３条の３）
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	:	非該当

16. その他の情報

参考文献	:	化学大辞典　共立出版社（1963）. NITE 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP)、独立行政法人製品評価技術基盤機構.

＊この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253 に基づいて作成しております。